

# 全国市議会旬報

第2079号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

平成31年 3月25日 (2019年)

毎月3回5の日に発行  
発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 滝本 純生  
<http://www.si-gichokai.jp>

一日も早く  
安らかな日々が  
戻ることを祈念

東日本  
大震災  
追悼式



秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと  
式辞を述べる安倍総理  
【出典=首相官邸HP】

政府主催の「東日本大震災八周年追悼式」が、11日、国立劇場で行われた。秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもと、安倍晋三内閣総理大臣、衆参両院議長、最高裁判所長官、遺族および被災者の方たちが参列。本会からは、山田一仁会長（札幌市議会議長）が出席した。

地震発生時刻の午後2時46分から1分間、黙とうがささげられた。

秋篠宮殿下は「おこと

ば」の中で、「困難な状況の中にいる人々が、誰一人取り残されることなく、少しでも早く平穏な日常の暮らしを取り戻すことができるよう、また復興の歩みが着実に進展していくよう、これから私たち皆が心を一つにして被災した地域や人々に末永く寄り添っていくことが大切。今なお困難を背負いながらも、復興に向けて日々努力を続けている人々に思いを寄せ、一日も早く安らかな日々が戻ることを皆で祈念し、御霊への追悼のことばをいたします」と述べられた。

安倍総理は式辞で、震災から8年が経過し、被災地の復興が着実に前進しているとした上で、いまだ不自由な生活を送っ

ている人々がいることにも触れ、政府として今後も、被災者一人一人が置かれた状況に寄り添いながら、生活再建のステップに応じた切れ目のない支援を行い、復興を加速させると強調。「今後、ハードからソフトに至るまであらゆる分野において、3年間集中で、災害に強い国創り、国土強靱化を進めていくことを、改めて、ここに固くお誓いいたします」と強い決

2019統一地方選企画  
もつと市民の中へ  
22年前から先進的改革

意を表した。  
遺族代表らが追悼の辞を述べ、参列者による献花が行われた。

市、館山市などが求めていた。2019年度末まで設けられている特例が24年度までの5年間延長されることとなった。本特例は、保育士と幼稚園教諭免許の両方の資格を持つことが保育教諭の要件であるところを片方の資格保有者でも可能とするもの。施設の人材確保、運営の安定化に資する。

放課後児童クラブに従事する者と、その員数基準を「従うべき基準」から「参酌すべき基準」へ柔軟化する見直しは、豊田・うるま・本巣・中津川・出雲・松山・広島市

## 放課後児童クラブ 基準を柔軟化 国会提出

### 地方分権一括法案

政府は8日、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（第9次地方分権一括法）」を閣議決定し、今国会に提出した。事務・権限の移譲や義務付け・枠付けの見直しなどが行われる。

幼保連携型認定こども園の保育教諭の要件の経過措置期間の延長は豊田・うるま・本巣・中津川・出雲・松山・広島市

などが求めている。厚生労働省令で定める基準を参酌しつつ、市町村が条例で定めることが可能となった。事業の質を担保した上で、地域の実情に応じた運営ができるようになる。

同法案は「平成30年の地方からの提案等に関する対応方針」（30年12月25日閣議決定）2073号（6・7面掲）を踏まえ、関係法律の整備を行うもので、13法律を一括改正、事務・権限の移譲が1法律、義務付け・枠付けの見直しなどが12法律となる。



竹野議長(左)と中森議員

月に、各会派から検討したいテーマを募集し議員全体で議論を行う市政活性化推進等議員懇談会(市活懇)が発足。17年度に発展的に議員政策

では、議会ホームページ開設、委員会などの公開や委員会室への傍聴用テ

「こにゅうどうくん」は生まれた。8月開催の四日市まつりの名物「大入道」の子どもである。まだゆるキャラという言葉はなく、時代の先駆けだった。



こにゅうどうくん【提供=四日市市】

レビカメラの設置、全議員を対象にした議案聴取会の実施等、さまざまな議会改革がスタートした。22年前から、先進的に議会改革に取り組んでい

30年までの14年間に10件の政策条例制定・改正を行った。昨年は、障害を理由とする差別の解消を推進する条例を制定した

竹野議長も「全議員が完全に同じ認識を持つこ

27年には議員全員に夕

【3面へ続く】

**もっと市民の中へ**  
**シティ・ミーティング**  
**22年前から先進的革新**  
**四日市市議会**

2019統一地方選

の意識合わせができる。政務活動とは違う側面を学ぶことで、団結することや全国の流れを34人が共有できる。各議員の能力が底上げされ、市長部局と正面から議論できることで議会の権能が高まる」(中森議員)

市民に興味を持ってもらうことが基本」と力説する。表決システム導入によって議員の意識も大きく変化。瞬時に議員の賛否が示されるので、市民にも評判がよいという。

は、18年に中森議員が最初の議長就任時に実施した。きっかけは「議会をよく知らない市民に、本会議場に来てください、

議員提案による政策条例制定・改正への取り組み。竹野議長は四日市市議会の特徴である「全議員が自由に議論する場」について語ってくれた。12年8

研究会(議政研)となった。「議政研で認められたテーマは特別委員会に上げられ、さらに議論され議会上がる三段ロケット方式。17年の自治基本条例(理念条例)の制定から

研修の充実では、29年に山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授による「これからの議会改革について」など、30年11月には東京大学法学部・大学院法学政治学研究所の金井利之教授による「政策・予算と自治体議会」を受講。「議員全体が共通知識を持つことで、改革への意識合わせができる。

と難しいが、少なくとも各議員が問題を意識できる。研修会はその役目を担ってくれ」と語る。

議会のICT化や委員会のインターネット中継など、議会の情報公開について、導入の発案者の一人である中森議員は「委員会の公開などを進める中で、本会議場の大型スクリーンや表決システム、市民へのインターネットでの議案の事前意見募集等を行った。とにかく議会が動いて、市民に興味を持ってもらうことが基本」と力説する。表決システム導入によって議員の意識も大きく変化。瞬時に議員の賛否が示されるので、市民にも評判がよいという。



左上のスクリーンで表決結果掲示【提供=四日市市】

【2面から続く】

委員会を見てくださいと  
言うばかりで、議会が出  
向いたことがないので、  
市民と議会の距離を縮め  
るために、もっと市民の  
中に入っていかなければ  
ば」との思いから。大勢  
の市民を前に「どんな意  
見が出るか怖かった」と  
振り返る。「市民からは、  
良識的な対話ができ、よ  
くやってくれたと評価を  
いただいた。市民と議会  
の情報共有の意義を実感  
した」という。しかし近  
年「報告会とシティ・ミ  
ーティングへの参加市民  
が減っている」のが悩み。  
市中心部や各地区の市民  
センターの他、スーパー  
マーケットや公共施設な  
どで、夜間や土日に開催  
するなど工夫しているが、  
なかなか効果が表れない。  
「議会側が原点に戻り、  
緊張感を高めるなど、反  
省する必要もあると思う。  
市民にも、参加すれば自  
分の意見を発表できるこ



高校生議長(左)と竹野議長  
【提供=四日市市】

とをもっと理解してもら  
えれば次も参加してくれ  
るのでは」と感じている。  
若者たちに議会へ興味  
を持つてもらうため、子  
ども議会などの開催にも  
積極的に取り組んでいる。  
竹野議長は昨年5月、就  
任時の所信表明で子ども  
議会の開催を提案。「過  
去行われた中学生議会で  
感銘を受けたことから、  
若い世代の意見を聴きた  
いという思いが強くなっ  
た」ため、昨年行われ  
た高校生アンケートで、  
約8割が市議会などの地  
方政治に関心がないとの  
回答があったことも大き  
かった。1月末の土曜日  
に高校生議会を開催。28  
人の高校生が参加した。

実際の議会を知ってもら  
うため、議長候補者の所  
信表明演説も行った。委  
員会も、広報広聴委員  
の委員がファシリテータ  
ーとして進行。高校生委  
員長を中心として意見書  
にまとめ、委員の了承を  
経て、本会議場で委員長  
報告を行った。委員長報  
告に対し表決を行ったが、  
反対も出て、議長が「賛  
成多数により採択されま  
した」という議会の実際  
に即した運営が行われた  
(意見書一部抜粋左下掲)。

「市民参加の制度化され  
たものが議会だが、地域  
の中で自治体の政治が見  
えなくなっている。地域  
での議会のミッション、  
メッセージが伝わってい  
ないから魅力が伝わらな  
い」と発言。まさに四日  
市市議会が情報公開に積  
極的なのは議会のミッシ  
ョン、メッセージを伝え  
るためだ。今井氏は「今  
の若い人は政治を嫌う。  
相手を批判したり、もめ  
ることを大変嫌がる。わ  
れわれはもう少し、もめ  
ることや争う楽しさを伝  
えていけたら」とも述べ  
たが、四日市市議会で  
行われている、研修など  
を通じて共通認識に立つ  
ての議論や、高校生に議  
会を経験してもらうことは  
「楽しくもめる」ことを  
市民に知ってもらいたい  
との思いがあるようだ。

時代で、常任委員会も非  
公開、議事録も要点筆記  
のみだった。次第に市民  
オンブズマンや情報公開  
などが動き出し、活字に  
なって公開されることに  
敏感にならざるを得ない  
時代になった。10年3月  
定例会からテレビ放映が  
始まった。それまで議会  
で言っていることと、地  
元で言っていることが全  
然違う人がいたが、それ  
が通じなくなった。情報  
化のすごさを実感した」  
四日市市議選がある4  
月の統一地方選で、議会  
改革も大きなテーマ。「こ  
にゅうどうくん」の趣味  
は人をびっくりさせるこ  
と。「全国の市議会をあ  
つと驚かせるような取り  
つと驚かせるような取り

組みを今後ほしい(竹  
野議長)。四日市市議会  
の改革は続く。  
【四日市市】明治30年に  
全国で45番目の市として  
市制施行。平成29年に1  
20周年を迎えた。石油  
化学コンビナートや、半  
導体事業など高度部材供  
給拠点の形成により、産  
業都市として発展を維持  
している。人口は20年10  
月に31万4805人を記  
録。31年3月1日現在、31  
万2029人で、若年層  
を中心に大きな転入超過  
となっている。この傾向  
を維持し、さらに子育て  
世代の定住人口を伸ばす  
ため、新しいことに積極  
的にチャレンジする組織  
風土の醸成を図っている。  
の際に危険個所にカーピ  
ラーの設置や歩道と車道の  
区別を明確に行い、自転車  
や歩行者の安全・安心に取  
り組み交通事故の減少につ  
なげること。  
平成31年1月26日  
四日市市議会高校生議

意見書一部抜粋(これか  
らの公共交通を考える委員  
会)▽バスの利用環境の向  
上のため、近鉄四日市駅の  
発着場を1つに集約し、行  
き先の表示が他府県からの  
来訪者でも利用しやすいよ  
うに、わかりやすい案内表  
示にすること▽自転車通学

鳥取市

議運委の定例会総括で成果  
改革の最終目標は投票率向上  
山田副会長インタビュー

「尊敬する人物は吉田茂元首相。リーダーシップと威厳、さらにユーモアを持ち合わせ、常に日本全体の利益を意識した政治を行うなど、見習うべき点が多い。議長職遂行の参考にしたい」。昨年12月定例会で第63代鳥取市議会議長に選出された山田延孝副会長は、インタビューにこう語った。



新庁舎完成イメージ図の前に立つ山田議長

鳥取市議会は、議会基本条例の制定、反問権の施行、政務活動費領収書のホームページ公開など、多くの改革を実施。その中で山田議長が「想定以上に議員の議会運営に関する意識向上に寄与している」と挙げたのが、1年前から始めた議会運営委員会による定例会総括、政策立案から実行、チェ

ック、改善をする、それぞれの英語の頭文字を取った「PDCAサイクル」で言えば、チェックとなる取り組みだ。「議運の委員のほか、委員外議員や議会事務局からも定例会中の議会運営に関わる課題などに発言できることから、いろいろな意見が出る」。例えば、「質疑と質問の区別がついていない議員がいる」「請願陳情に添付されている参考資料を事

前配布してほしい」「決算審査特別委員会分科会での審査の視点は、適正な予算執行かどうかである」「事業別概要の文字が小さくて見づらい」。こうした意見は議員全員に周知されるとともに、執行部に関するものは執行部へ付言する。「各議員は議会運営のルールや意義を考えながら行動しているようで、議会がうまく動いている実感がある。執行部にとっても議会のルールに則って対応すればよく、プラスになっている」という。

鳥取市は1市8町村の合併を経て、30年4月に中核市に移行。約19万人の人口は中核市の中で最も少ない。山陰東部の中心として周辺自治体と連携しながら少子高齢・人口減少の波を乗り切ろうとしている。今年11月の新庁舎開庁を目指し、工事が進む。「移転後、早い時期にタブレット端末

を活用した議会運営を行うよう議会改革検討委員会で話し合っている。議



バッターボックスで構える山田選手

会改革の最終的な目標は市議会議員選挙の投票率向上。多くの市民が議会に関心を持つことが投票行動につながる。これからも地道に取り組んでいきたい」と力強く語った。

【プロフィール】前職は合併で鳥取市に編入された河原町の職員。町議会事務局長を10年間務め、

鳥取市職員として退職した。「議員と議会事務局はお互いの信頼が重要」と話す。健康法は少年時代から70歳を超えた今も続けている軟式野球。還暦や古希の大会に選手として出場。県外遠征もあり、「今シーズンも頑張るぞ」と気合を入れている。73歳。

議事人事

※年表記がないものは31年

- ▼議長
  - ▼阿波 森本節弘(30・4・13)
  - ▼十和田 竹島勝昭(1・11)
  - ▼八千代 林隆文(1・16)
  - ▼釧路 草島守之(1・18)
  - ▼香取 田山一夫(1・21)
  - ▼三沢 船見亮悦(1・31)
  - ▼横須賀 田辺昭人(1・31)
  - ▼菊川 松本正幸(1・31)
  - ▼西東京 田中のりあき(2・1)
  - ▼福津 江上隆行(2・1)
- ▼小諸 竹内健一(2・4)
- ▼かすみがうら 加固豊治(2・4)
- ▼田原 大竹正章(2・4)
- ▼倉敷 齋藤武次郎(2・4)
- ▼下呂 各務吉則(2・5)
- ▼御坊 向井孝行(2・5)
- ▼茨木 下野 巖(2・7)
- ▼つがる 平川豊(2・13)
- ▼副議長
  - ▼阿波 榎原 伸(30・4・13)
  - ▼十和田 野月一博(1・11)
  - ▼八千代 大塚裕介(1・16)
  - ▼香取 田代一男(1・21)
  - ▼小諸 鈴木啓之(1・31)
  - ▼福津 米山 信(2・1)
  - ▼小諸 柏木今朝男(2・4)
  - ▼田原 森下田嘉治(2・4)
  - ▼倉敷 三村英世(2・4)
  - ▼名取 菊地 忍(2・5)
  - ▼御坊 松本隆史(2・5)
  - ▼茨木 塚 理(2・7)
  - ▼つがる 小笠原忍(2・13)
  - ▼事務局長
    - ▼小牧 舟橋逸喜(30・4・1)
    - ▼田原 鈴木 亨(30・4・1)